

月刊 やちまなこ

2021. 9.15 発行

No.286

9月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

暑かった夏も終わり、湿原のヨシも茶色くなり始めた空にトンボが飛び交う頃となった。朝から心地よい風が吹き、虫の鳴き声が聞こえる草地に横たわり、澄んだ空を次々と雲が流れ行く様子をしばらく眺めていたら、岩谷時子の詩が浮かんできた。

風は飛ぶ 枯草の上を
空にある幸せ 探しながら
風は泣く 大空の胸を
淋しさに夜更けも めざまめながら
きれいな虹に めぐりあう日を
ただ夢みて 雲の波間をさまよう
昨日鳴る鐘も 明日はない
大空の広さを風は知らない



塘路フィールドノート【8/15~9/14】

【野鳥】

夏鳥たちの存在感が徐々に薄れ、少し寂しく感じられる初秋の塘路湖畔ですが、夏鳥と入れ替わるように水鳥たちの飛来が始まりました。日に日に深まる秋と歩調を合わせるように、これから水鳥たちの姿が増えてくるでしょう。



アオジ (塘路湖畔)

親鳥に代わって最近よく見かける幼鳥。ジツという声とともに藪の中から現れました



オシドリ (塘路湖)

地味な色に変わったエクリプス。すでに繁殖羽への換羽が始まった個体も見られます



カワセミ (塘路湖畔)

湖面に突き出した枝に飛来したところ。全体的に色がやや淡めなので、おそらく幼鳥



コサメビタキ (塘路湖畔)

近くの樹上に飛来した幼鳥。クリクリとした目でキョロキョロと辺りを窺っていました



チゴハヤブサ (塘路湖畔)

湖岸の木の枝先に止まっています。センターの上空を旋回する姿も時々見かけます



ビンズイ (塘路湖畔)

湖畔で時々見かけます。数羽の群れでパークゴルフ場をウロウロしていました

【植物】

残暑厳しかった今年の塘路湖畔ですが、その暑さもひと段落し、現在は秋の花々が今シーズン最後の盛りを迎えています。花のある風景ももう少しで見納め。今のうちにしっかりと目に焼き付けておきたいものです。



エゾトリカブト (塘路湖畔)

秋の野で抜群の存在感を放つ花。開花は8月の中旬頃でしたが、まだ蕾も見られます



サラシナショウマ (塘路湖畔)

この花が盛りを迎えると秋を感じます。ふわふわの花が風景に優しい印象を与えます



ツリフネソウ (フィトンチッドの森)

森の中の湿ったところでひっそりと咲きます。特徴的な形と鮮やかな色が印象的な花



ハッカ (塘路湖畔)

湖岸沿いでたくさん見られます。今年は昨年より咲きっぷりがいいような気がします



ヤマハハコ (サルルン展望台)

塘路湖周辺ではやや珍しい花。花は黄色い部分で、少しピークを過ぎた感じでした



ミゾソバ (サルルン沼周辺)

湖畔で今一番元気な花。小さな花ですが、局所的に群生するので、意外に目立ちます

◎色付き始める湖畔の樹々

朝晩は少し肌寒く感じるなど、日に日に秋が深まりつつある塘路湖畔では、赤や黄色に色付き始めた樹木が少しずつ見られるようになってきました（写真左上：ヤマブドウ 右上：エゾヤマザクラ 左下：ヤチダモ 右下：ハルニレ）。

塘路湖畔の紅葉・黄葉の見頃は、例年ヤマブドウとヤチダモが9月下旬～10月上旬頃、エゾヤマザクラ・ハルニレ・イタヤカエデなどが10月中旬～下旬頃、トリを飾るカラマツが11月上旬頃となっており、これから2か月弱の間は、一年のうちで、最も色鮮やかな風景を楽しめます。



【昆虫】

夏、賑やかだったセミやキリギリスの声も、秋が深まってくるにつれて徐々に下火になってきました。しかしその一方で、すっきりとした秋晴れの日には、チョウやトンボなどがまだまだ元気に飛び回る姿が見られます。



アカマダラ (塘路湖畔)

湖岸や森の中など幅広い場所で見られます。翅の表裏両側に印象的な模様を持つチョウ



ベニシジミ (塘路湖畔)

ちょうど近くの葉に止まったところ。シジミチョウの仲間では今年最もよく見かけます



クロイトトンボ (塘路湖畔)

今年はかなり多くの個体が見られました。ササや水草の上に止まっていることが多いです

【お知らせ】センターの臨時休館について

緊急事態宣言中につき、センターは現在臨時休館となっています（休館期間は9月30日までの予定）。通常開館の再開時期などの詳細につきましては、下記のリンクおよび当センターのSNSなどをご確認いただけますようお願いいたします。

<http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>
(釧路湿原国立公園連絡協議会ホームページ)

【報告】「秋のキノコ観察会」は中止となりました

9月4日（土）に予定されていた「秋のキノコ観察会」は、新型コロナウイルス感染拡大防

止のため、中止とさせていただきます。

【お知らせ】今後の自然ふれあい行事について

10月以降の自然ふれあい行事についても、その時々々の感染状況によっては中止となる可能性があります。開催の可否につきましては、当センターへお問い合わせいただくか、左記のホームページやSNSなどをご確認ください。



10月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

ムックリ（口琴）を作ろう

[日 時] 10月16日（土）13時～15時
[定 員・参加料] 10名 300円（材料費）
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター
◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

晩秋の湿原 野鳥観察会

[日 時] 10月23日（土）10時～12時
[定 員・参加料] 10名 無料
[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森
（集合場所はシラルトロ自然情報館駐車場）
◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

秋の紅葉を見に行こう

[日 時] 10月17日（日）10時～12時
[定 員・参加料] 10名 無料
[開催場所] 温根内ビジターセンター
◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 8/15(4:27,18:25). 8/31(4:44,17:59).9/14(4:00,17:35)

～編集後記～

■秋の訪れとともに早朝と昼間の気温差が大きくなり、高い山では紅葉の始まったニュースが流れていました。釧路湿原を含め周辺の木々の紅（黄）葉も目立つ中、塘路湖近くにあるシラルトロ湖では、今年も越冬のため、ヒシクイの群れが湖上で羽を休める姿を見かけました。季節の移ろいとともにヒシクイたちの数も徐々に増えてきます。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるごと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL：015-487-3003 FAX：015-487-3004
E-mail：emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間：10：00～17：00

（11～3月：16：00まで）

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日
入館無料